

第78回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、
令和4年度第1回薬事・食品衛生審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会

資料3

2022(令和4)年4月13日

HPVワクチンについて(報告)

HPVワクチンの接種状況の推移①

HPVワクチン定期接種被接種者数・実施率※の推移

地域保健・健康増進事業報告「定期の予防接種被接種者数」より

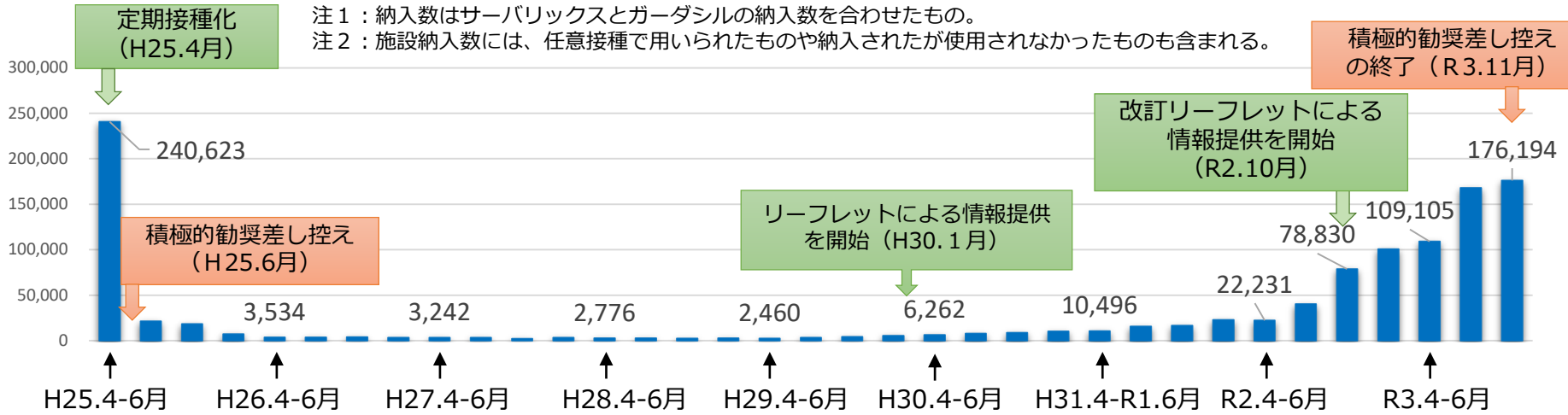
年度		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2
1回目	接種者数	98,656	3,895	2,711	1,834	3,347	6,810	17,297	83,735
	実施率※ (%)	17.2%	0.7%	0.5%	0.3%	0.6%	1.3%	3.3%	15.9%
2回目	接種者数	66,568	4,172	2,669	1,805	2,666	5,746	13,571	61,266
	実施率※ (%)	11.6%	0.7%	0.5%	0.3%	0.5%	1.1%	2.6%	11.6%
3回目	接種者数	87,233	6,238	2,805	1,782	1,847	4,184	9,701	37,556
	実施率※ (%)	15.2%	1.1%	0.5%	0.3%	0.3%	0.8%	1.9%	7.1%

※「実施率」

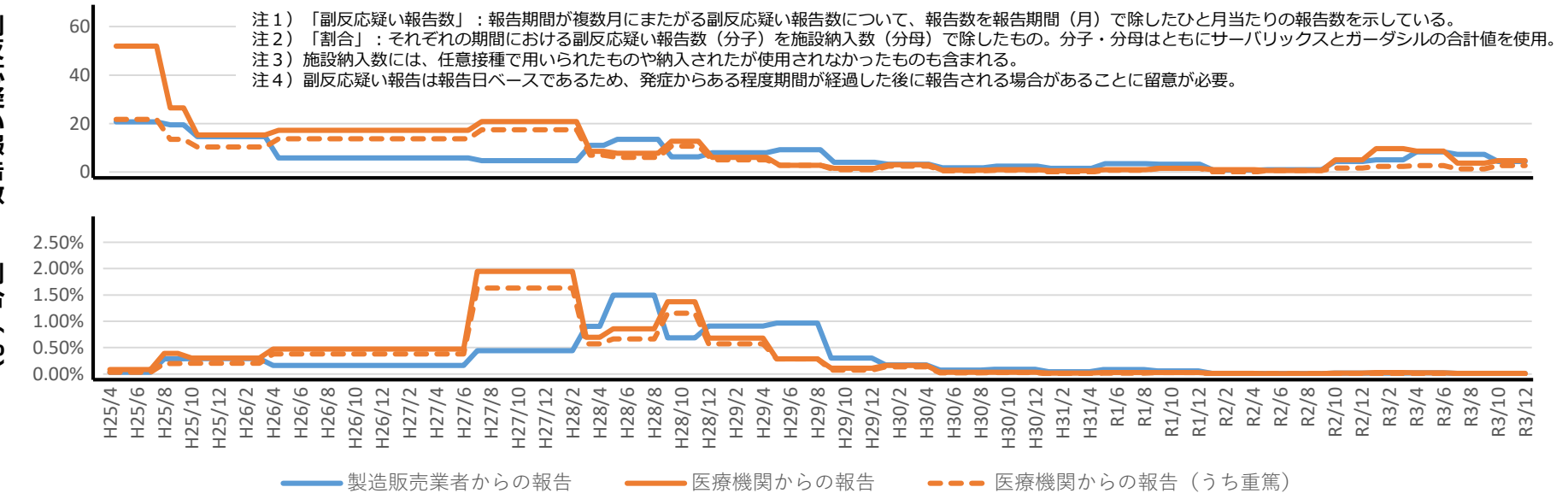
接種者数（地域保健・健康増進事業報告の「定期の予防接種被接種者数」より計上）を、対象人口（標準的な接種年齢期間の総人口を総務省統計局推計人口《各年10月1日現在》から求め、これを12ヶ月相当人口に推計したもの）で除して算出したもの。

HPVワクチンの接種状況の推移②

定期接種化（平成25年4月）から令和3年12月までの医療施設へのワクチン納入数の推移



定期接種化（平成25年4月）から令和3年12月までの副反応疑い報告の推移



(注) 製造販売業者からの報告には、医療機関から報告された症例と重複している症例が含まれている可能性があり、重複症例は、医療機関報告として計上している。

HPVワクチンの安全性評価について

- 令和4年4月以降、HPVワクチン接種数の増加が見込まれることから、これまで以上に頻度を上げて副反応報告の状況を把握し、きめ細かく評価を行うとともに、接種後症状を呈した方の診療実態について、タイムリーに把握し丁寧に解析する。

安全性の継続的な評価

- **積極的勧奨再開後の約半年間（4月～10月）**は、通常3か月に1回行っている評価を、**概ね1か月に1回とし、頻度を上げて評価**を行う（表1）。
- HPVワクチンの接種状況については、引き続き、定期的な調査を実施するとともに、キャッチアップ接種や過去の接種歴不明者の接種状況についても把握できるように調査方法を変更する。

表1 令和4年度の予定

副反応検討部会開催予定月
令和4年4月
<u>令和4年6月</u> [※]
※令和4年4月以降に報告された副反応疑い事例の最初の評価日
令和4年7月
<u>令和4年8月</u>
<u>令和4年9月</u>
令和4年10月
令和5年1月

※下線部は追加評価

協力医療機関の診療実態調査

- 令和4年4月以降の積極的勧奨再開後は、厚生労働行政推進調査事業（岡部班）において、全国の協力医療機関（※1）に対してwebアンケートによる診療実態調査（※2）を行う。頻回かつ長期的フォローにより、**受療実態を迅速に把握するとともに、患者の臨床像を丁寧に解析**する。

※1 協力医療機関とは、より身近な地域において適切な診療を提供するため、都道府県単位で選定した、地域における中核的な役割を担う施設。（全国84施設、令和3年4月1日時点）

※2 調査項目は、新規受診者数、継続受診者数、接種から症状出現までの期間、患者の臨床症状 等